

2013 年度 幼稚班要覧

学校法人 兵庫朝鮮学園 神戸朝鮮初中級学校 附属幼稚班

学校長 金錫孝
主任 鄭幸順

所在地 神戸市中央区脇浜町 1 丁目 6 番 1 号
電話 078-251-1104(代)
F A X 078-251-0806
U R L <http://www.kobe-korean.com>

I. 教育の概要

1. 学校(幼稚班)・地域の特徴

- 本校附属幼稚班は在日コリアン子弟(国籍一朝鮮・韓国・日本)が通う幼稚班で、初級部 1 年(小学校 1 年相当)から中級部 3 年(中学校 3 年相当)が通う初中級学校に併設されており、広い校庭を活用した運動遊びに主体的に取り組むことができる。また、年間を通して初級部、中級部の児童生徒たち年齢幅の広い異年齢の友達との交流により、様々な体験が学びとなって幼児の生活や遊びを豊かにしている。
- 教育に熱心な家庭が多く、協力的で PTA 活動であるオモニ会も充実し、幼児にも愛情を持って接している。よって人とかかわる力を育むため、異年齢交流や学校内外の様々な人とかかわる体験を重視している。
- コリアンとして自覚の芽生えを促しながら、地域の日本人々との交流を大切にしている。
- 自然と触れ合う楽しさや、収穫した野菜を食べる喜びを味わいながら、環境教育行っている。

2. 教育目標

(1) 幼稚班の教育目標

本校附属幼稚班では義務教育及びその後の教育の基礎を培うことを目標とする。

- 集団生活を通じ幼児期から自らを律する心と感性豊かな民族的情緒を育てる。
- 体験と遊びを通じ科学的知識の基礎、考える力を育てる。
- 豊かな感情と表現力を養い、心と体の発育、意欲を育てる。
- 正しい生活習慣、健全な道徳観念の基礎を養う。

(2) 幼稚班の教育目標を達成するための基本方針

幼児が友達と共に過ごす中で、持ち味や力を十分に発揮し、のびのびと生活や遊びに取り組むことが出来るように、心と体の基礎をしっかりと育て、幼児期にふさわしい生活を展開する。

- ・ 様々なことに挑戦していく意欲やたくましさをも身につけていくために規則正しい生活や戸外遊びの充実を図る。
- ・ 遊びや生活に主体的に取り組む力を育成するために、意図的・計画的な保育環境を構成する。
- ・ 人とかかわる力を養うために、学校内外の様々な人とかかわる体験を重視する。
- ・ 一人一人の良さや可能性を伸ばしていくために、幼児の実態をとらえ個に応じた指導を行う。
- ・ コリアン伝統的文化にふれる機会を大切にし、地域とコリアンコミュニティーの教育力を活かした教育活動を展開することで、潤いのある豊かな生活や遊びを保障する。
- ・ 豊かな感性や知的好奇心を育むために、自然やものとの直接体験を重視する。
- ・ 初級部、小学校への円滑な接続のために、就学前教育の充実と初級部、幼稚園との交流、連携を重視する。

3. 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

- ・ 幼児が主体的に体を動かす喜びを味わうために、広い校庭や体育館の活用を重視し運動遊びや集団遊びを積極的に取り入れる。(健康)
- ・ 豊かな感性や事前に対する親しみの気持ちを育むため、様々な体験をつうじて動植物を愛する心、自然現象に対する興味と観察力を育てる。数・量・形の概念の基礎を作る。(自然)

- ・友達と共に気持ちよく生活する態度と基本的生活習、社会性を養うため、友達と十分にかかわる中で、言葉で思いを伝えあい、相手の思いに気付いて自分の感情をコントロールしたり、きまりを守ることの大切さを確認したる体験を意図的に確保する。(言葉・人間関係・社会)
- ・豊かな表現力やコリアンとしての感覚、そして国際感覚の基礎を育てるために、コリアをはじめとする様々な国の伝統や文化と出会う機会、朝鮮語で聞き話す機会を意図的・計画的に設ける。(言葉・表現・社会)
- ・民族のリズムに合わせて歌い踊る楽しさ、感情を歌、踊り、楽器演奏(ピアノ・木琴・打楽器など)等で自由に表現する表現力を養う。(表現)
- ・お絵描き、工作等を楽しみながら、創造性と独創性を育てるための機会を意図的・計画的に設ける。(表現)
- ・学びの芽生えを促すため、幼児の関心をとらえ、楽しみ、試し、工夫しながら遊びが発展するように援助し、考えたり、探求したりする楽しさを経験できるようにする。(環境)

(2) 環境の構成

- ・全身を動かして遊べるように、年齢や時期に応じて全員でいろいろな運動遊びに取り組む機会を設けたり、戸外で体を動かして遊ぶための環境を充実させたりする。
- ・幼稚班での行事や学校、地域の行事などの体験から興味や関心を深めたり、それが発展していくよう、写真や関係する絵本等を取り入れた環境の構成を工夫する。
- ・人に対する信頼感や、互いを尊重する気持ちを育むために、同年齢や異年齢の友達・初級部、中級部の児童等と一緒に楽しむ経験を通して、相手への理解を深めたり、優しくしてもらう嬉しさや人の役に立つ喜びを感じたりできるようにする。
- ・言葉や表現、態度などいろいろな方法で自分の思いを伝える喜びを味わうことが出来るようにするために、劇遊びやリトミック、リズム遊び、表現活動を取り入れる。また、毎日の集会を通して話を聞く姿勢を身につけ、発表する楽しさを味わうようにする。
- ・幼児が感じたり、考えたりすることの楽しさを味わうことが出来るようにするために、発達に応じたもの作りのための指導内容や教材、場作りを工夫する。
- ・幼児期から自動機への滑らかな接続を図るために、初級部と併設する環境を活かし、教職員と連携を取りながら初級部児童との日常的なかかわりを重視する。
- ・自然に対する興味、関心を深めるために、季節に応じた自然との出会いや日常的な自然との触れ合いを体験できるようにする。

(3) その他

- 家庭の教育力を高めていくために、保護者の多様なニーズに応えるとともに、子育て支援活動の充実を図る。
 - ・保護者の幼稚班教育に対する理解を深めるために、発達を考慮し、学校・学級の実態に応じて参観、参加の機会を積極的に設ける。
 - ・幼稚班と家庭とが相互に情報を交換し合う中で、幼児をより深く理解し、保護者が子育ての喜びを実感できるようにする。
 - ・保護者の仕事等による子育て、幼児教育の負担を軽減するために預かり保育を常時行うものとする。また夏休み・冬休みなど学校が休校の期間でも保護者の子育てを支援する観点より夏季保育、特別保育等を設ける。
- 特別支援教育
 - ・一人ひとりの発達や特性に応じた指導を行うため、各学級の課題を全教職員で協議しながら、より望ましい援助の方法を探っていく。さらに、全教職員が共通の方針に基づいて指導を行うことで、指導効果を高める。
- 幼小連携
 - ・初級部の授業を積極的に参観したり、意見を交換したりする中で、教育の連続性をとらえ、円滑な接続のための連携を図っていくとともに、就学に向けての意欲を高めていく指導を工夫する。
- 本年度の研究主題
 - ・数遊びを通じて園児の考える力を養う教育について

4. 一日の時間

9:00	登園 ・持ち物の整理 出席のシールを貼る
9:00 ~ 10:00	自分で選んだ遊び ・自分の好きな遊びに没頭し、友達とのかかわりを深める。 ・遊んだものをみんなで片づける。
10:00 ~ 11:00	体操・運動遊び ・校庭で体操・運動等で全身を動かす。
11:00 ~ 12:00	まとまりのある活動(設定保育) ・先生や友だちと一緒に活動する。
12:00 ~ 13:15	昼食、自由遊び ・保護者が作ってくれた弁当を友だちと楽しく食べる。 ※水曜日は保護者会(オモニ会)による給食 ・友だちと自分が選んだ遊びを楽しむ。
13:15 ~ 14:30	まとまりのある活動(設定保育) ・先生や友だちと一緒に活動する。 ※2歳児はお昼寝
14:30 ~ 15:00	お片づけ、降園準備 ・お掃除、お片づけをみんなでする。 ・明日への期待をもつ ・自分で降園の準備をする。
15:00	降園 ・挨拶をし、保護者の迎えやスクールバスで降園する。
15:00 ~ 17:30	預かり保育 ・保護者の仕事の関係上、お迎えが遅くなる園児は先生と過ごす。

5. 年間行事計画

4月	入園式 始業式 身体測定 遠足(王子動物園)	5月	参観日 親子遠足(総合運動公園) 歯科健診 お誕生日会(4・5月)
6月	内科健診 体験保育 お料理会 園外保育(プラネタリウム) 金剛山歌劇団ジョイントコンサート	7月	プール遊び お誕生日会(6・7・8月) 七夕遊び お料理会 体験保育 終業式 夏まつり 夏季保育
8月	夏季保育 夏季特別保育	9月	始業式 プール遊び 運動会
10月	他校との交流遠足 体験保育 お誕生日会(10・11月) お芋掘り 敬老会 生活発表会 臨港線まつり(地域住民とのふれあい)	11月	焼き芋大会 愛校祭 お料理会
12月	餅つき 作品展示会 お誕生日会(12月) クリスマス会 終業式	1月	始業式 新年の集い 防災訓練 体験保育
2月	学芸会 ソリ遊び 体験保育 お誕生日会(1・2・3月)	3月	ひな祭り(他園との交流会) マラソン大会 お料理会 卒園式 修了式

Ⅱ. 現況

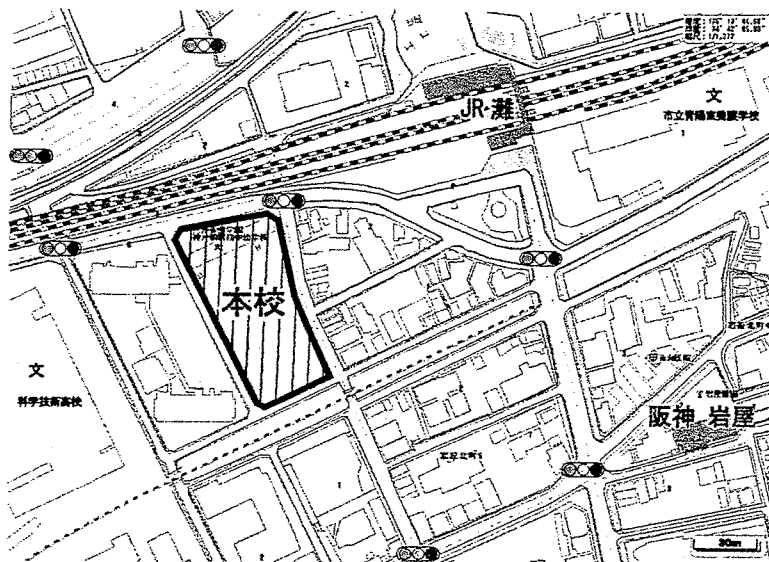
1. 施設・規模一覧

現校舎	着工 1996(H8)年3月10日 竣工 1997(H9)年3月02日	保育室	保育室 兼 遊戯室 (4)
校舎構造	RC+S ラップルコンクリート	教室	初中級部教室など (12)
校舎面積	建築 1,200 m ² 延床面積 3,236 m ²	職員室	初級部併設(1) 中級部(1)
あそび場	屋外 (初中級部共用) グランド	その他	体育館、音楽室 コンピューター室、保健室

2. 組編成

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	いちご	8	3	11	4歳	つつじ	9	6	15	5歳	たんぽぽ	6	1	7

3. 所在地



住所

神戸市中央区脇浜町1丁目6番1号

電話 078-251-1104(代)

FAX 078-251-0806

最寄駅

JR 灘駅 南西へ徒歩2分

阪神 岩屋駅 北西へ徒歩3分

阪急 王子公園 南西へ徒歩10分

Ⅲ. 沿革の概要

1962年04月01日	東神戸朝鮮初中級学校 附属幼稚班として設立
1962年10月27日	新校舎竣工 (現在所在地 鉄筋3階校舎)
1995年01月17日	「阪神淡路大震災」により校舎が全壊 県下、及び全国の朝鮮学校に臨時転学(91.7%)
1995年03月13日	グラウンドに仮設校舎を設置し学校を再開
1997年03月02日	新校舎竣工 (現在の校舎)
2005年11月13日	震災復興10周年記念行事を神戸市「震災復興10周年 神戸からの発信」事業として行う。